

# リトアニア政治・経済月間情勢(8月)

## 概況

●バルト3国・米首脳会合が8年ぶりに実施され、グリボウスカイト大統領はオバマ米大統領と会談。両国の協力関係が新たな段階へ到達したと強調され、両国関係の強化に対する期待が高まった。

●リトアニア外交官のアゼルバイジャン・アルメニア関係に関する電話内容漏洩事件により、当該大使2人の解任が決定。EU東方パートナーシップ首脳会合の妨害を目的としたロシア情報当局による犯行との見方が報道される。

●リトアニアのEU議長国が7月より開始され、外相は最初の1ヶ月間の成果を高く評価。11月末の首脳会合に向けた秋以降の議長国運営に備え、準備が進められた。

## 内政

【7日】グリボウスカイト大統領は、公務員倫理法改正法案を国会へ提出。

【10日】秩序と正義党は年次党大会を開催し、ユーロ導入を問う国民投票の実施、また国民投票の実施に必要な署名数を現在の30万人から10万人へ削減する憲法改正の実施を主張。

## 外交

【1日】7月8日に駐ハンガリー・リトアニア大使と当国外務省東方近隣政策局副局長の電話及び駐アゼルバイジャン・リトアニア大使と当国外務省事務官の電話の録音テープがYoutube上に投稿された問題に関し、リンケビチュウス外相は、これは情報挑発であり遺憾、録音テープの内容は政府の見解とは無関係と発言。パウラウスカス国会安全保障防衛委員会委員長は、ロシアによる犯行である可能性を指摘。26日、リンケビチュウス外相は両大使の解任を提案し、29日、グリボウスカイト大統領は両大使の解任を決定する大統領令に署名。

【1日】リンケビチュウス外相は7月のEU議長国としての活動を総括し、リトアニアが加盟国間の総意を取付け、議長国の義務を果たす能力を有することが証明されたと評価。

【1日】プトケビチュウス首相は、トラカイで当国訪問中のペレス・イスラエル大統領と会談し、緊密な経済関係の一層の進展について協議。

【8日】当地ロシア大使館前で南オセチア紛争勃発5周年に際する抗議デモが実施され、アドメナス祖国同盟議員等が参加。

【11日】リトアニアの民間船舶護衛部隊16人は、AT ALANTA任務の一環として、世界食糧計画(WFP)のケニアからソマリアへの食料輸送船警護任務を開始。

【12日】8日にポズナンで開催されたポーランドとリトアニアのサッカー試合で、ポーランド応援グループが反リトアニア的横断幕を掲げたことに関し、シコルスキ・ポーランド外相は、ポーランド応援グループはリトアニアへ謝罪すべき、両国間にはリトアニアのポーランド系少数民族を巡る問題が未解決であると発言。

【14日】リンケビチュウス外相は、エジプト情勢を懸念し、調停プロセスの開始を促す声明を发出。

【14日～18日】ゲドビラス国会議長はグリーンランドを訪問し、NB8国会議長会合へ出席。

【20日】当国訪問中のコルマン・モルドバ国会議長は、グリボウスカイト大統領、プトケビチュウス首相、ゲドビラス国会議長及びリンケビチュウス外相と会談し、二国間関係、モルドバ・EU関係、エネルギー問題等につき協議。

【23日】検察は、暗視装置及び遠隔操作カメラの輸出・密輸並びに資金洗浄容疑のかけられているウマチノフ露容疑者を、米国からの要請に応じ、米国へ引き渡した。

【23～25日】プトケビチュウス首相は、エストニアで開催されたバルト3国首相非公式会合へ出席し、バルト3国の経済関係の強化について協議。

【24～25日】オレカス国防大臣はアフガニスタンを訪問し、チャグチャランPRT施設のアフガニスタンへの移譲式に出席。同席でラフマティ・ゴール県知事と共に移譲に関する協定へ署名した。同大臣はリトアニア、グルジア、米国、ウクライナ国旗の降旗式にも出席。31日、チャグチャランPRT最後のリトアニア軍要員が最終任務を終え、約8年間に渡る当国の同PRT任務は完了した。

【29日】リンケビチュウス外相は、シリア情勢に関し独、ポーランド、マルタ、ルーマニア、スウェーデン外相等と協議。国連による調査の重要性、大量破壊兵器の使用に対する非難、本件にかかる国連安保理の責任を強調した。

【29～30日】ビリニウスで欧州問題担当大臣会合が開催され、次期欧州議会選挙、理事会と議会との協力関係の促進等について協議。

【30日】グリボウスカイト大統領は米ワシントンを訪問し、ラトビア及びエストニア大統領と共にオバマ米大統領と首脳会談を実施。3国首脳は、新たな戦略的協力の段階を迎えたとの共同声明を发出。

## 経 済

【9日】統計局は、今年上半期の貿易統計を発表し、前年同期比で当国の輸出は14.7%増加し、輸入は10.4%増加した。

【14日】スウェーデン資本IKEAがビリニウスにバルト3国1号店を設置し、オープニング式典にグリボウスカイト大統領が出席。

【15日】統計局は、当国製造業における2012年の外国直接投資(FDI)は、前年同期の6億リタスから約40%増加し、9億800万リタス(2012年のFDI総額は65億7,000万リタス)と発表。

## エネルギー(含むビサギナス原発プロジェクト)

【1日】EUエネルギー第3パッケージの実施に伴い、リトアニア・ガス社からガス輸送事業が切り離され、同事業を担うAmber Grid社が操業を開始。

【7日】リトアニア・エネルギー社の再編により新設されたLithuanian Energy Production社の監査役会会長にミシューナスVAE社取締役が就任。

【14日】当地ベラルーシ大使館は、当地紙の全面広告を使用して、17日にアストラヴェツ原発建設予定地でリトアニア国民を対象とした公聴会を開催する、この公聴会参加者には査証及び交通手段を無償で提供すると広報。17日の公聴会にはビサギナス住民を中心とする約100人のリトアニア人が参加し、アストラヴェツ原発の建設が同地域の新規雇用創出に繋がるとの期待から、建設計画への支持を表明。リトアニア外務省は、ベラルーシは同原発の建設による環境影響評価と建設場所について公式に回答してからでなければ公聴会を開催すべきでないと批判。21日、当地ベラルーシ大使館前で、アストラヴェツ原発建設に反対する横断幕を掲げた市民4人が抗議デモを実施。

【27日】外務省は、露ロスアトム社がカーニングラードの原発建設に関するリトアニア外務省の非協力的な態度を批判する書簡を发出したとの報道を受け、ロスアトム社こそ当国からの質問に対する回答を提示していないと反論。

この資料は、リトアニアの政治・経済情勢を中心に各種報道、発表をとりまとめたものですので、記載事項の信憑性まで確認したものではありません。

記載事項は在リトアニア日本大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。